

平成26年度 日本大学豊山中学校（国語）

解答・解説

解答

問一 ① 宇宙 ② 傷む ③ 朗らか
① ふつこう ② かなめ ③ ふる 「つて」

問二 ① 意 ② 善
ア オ B ウ

問一
問二
問三
問四
問五
問六
問七
問八
問九
問十
問十一
問十二

日本人の食生活が肉中心になってしまったこと。
4 エ 自国の食料の半分以上を輸入にたよる点。
あなたが私にうそをついても

問一
問二
問三
問四
問五
問六
問七
問八
問九
問十
問十一
問十二

鶴じいは、足の状態を心配していたが、優太の走りたいという気持ちを尊重し、応援しようと決めた。
自分の魂がくような感覚

エ イ ウ イ オ ウ イ オ ウ イ オ ウ

問一
問二
問三
問四
問五
問六
問七
問八
問九
問十
問十一
問十二

中学生に上がってから急ぐをやめてしまったこと

解説

二

問三 二段落後にある「魚ばなれの原因は、」で始まる一文に理由が説明されているので、わかりやすくまとめます。

問十一 本文の後半に着目します。熱中しても、しばらくすればあきてしまうかもしれないが、あとになつてその経験が、きっと役に立つので、熱中してやることに、むだなことはひとつもないことが述べられています。終わりには、数々の経験のすべてが役に立つていて、「大好き」な気持ちをそのままに、たいせつと思うことをたいせつにしながら生きていくたいという筆者の思いが述べられていることから、本文の内容としてふさわしいものは選択肢工になります。

問二

「姫や美月の」で始まる段落に、優太がずっと考えていたことが述べられています。幼くて、無力なぼくらは、どうにもできない問題にぶち当たったとき、いったいどうしたらいいのか、無力なぼくらが強く変わるとするならば、なにに対してどう強くなればいいのかという記述内容から、選択肢イが選べます。

問十二

本文には、優太が鶴じいとともにトライアスロンに取り組む様子が描かれています。足をつっても、諦めず、自分に負けずに走り終え、自信をつけたことや、鶴じいが、かつこいい大人のひとりだと思えたことから、選択肢エがふさわしいことがわかります。